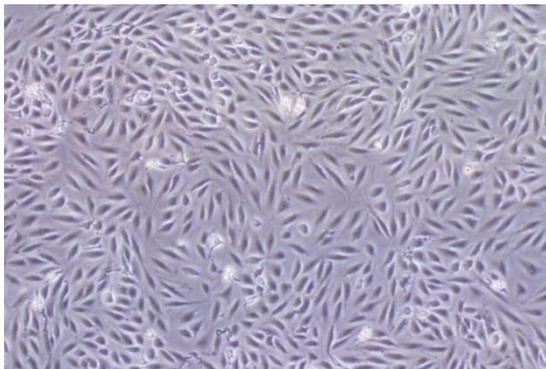
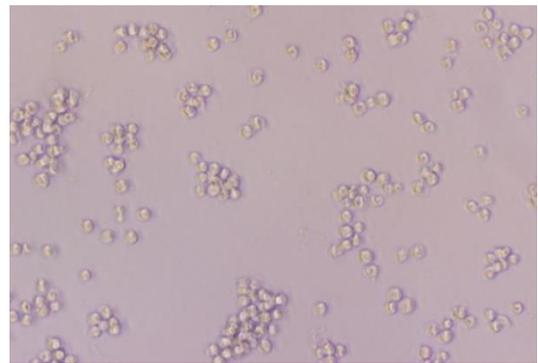


ウイルス不活化試験

各種工業品、繊維製品等でのウイルス不活化試験を実施しております。ネコカリシウイルス他、数種のウイルスにて検査が可能です。お客様の使用目的に応じて試験設計を致しますので、まずはお気軽にお問い合わせください。長年の実績があり、ご要望に沿ったご提案が可能です。



正常な CRFK 細胞



ネコカリシウイルスに感染した CRFK 細胞

対象品

一般工業製品（ガラス製品、金属製品、プラスチック製品等）、繊維製品（布、不織布等）、化学工業品（液状・粉状薬剤等）、電化製品、デバイス 等

試験可能なウイルス

種類	分類	エンベロープ	薬剤耐性	遺伝子	主な病気
アデノウイルス 1 型 アデノウイルス 5 型	アデノウイルス科 マストアデノウイルス属	無し	高	DNA	咽頭炎, プール熱, 流行性角結膜炎
インフルエンザウイルス A 型	オルソミクソウイルス科 インフルエンザ A ウイルス属	有り	低	RNA	インフルエンザ
ヒトヘルペスウイルス 1 型	ヘルペスウイルス科 <i>Simplexvirus</i> 属	有り	低	DNA	口内炎, 角膜炎, 唇ヘルペス
ネコカリシウイルス*	カリシウイルス科 <i>Vesivirus</i> 属	無し	高	RNA	口内炎, 肺炎
ポリオウイルス 3 型	ピコルナウイルス科 エンテロウイルス属	無し	高	RNA	急性灰白髄炎

* 食中毒の原因物質として近年問題になっているノロウイルスは、現在汎用的な培養技術が確立されていないため、培養細胞を用いた不活化試験は行われていません。弊財団では、ノロウイルスと同じカリシウイルス科に属するネコカリシウイルスを使用した試験（ノロウイルスの代替的試験）を受託しています。経験も豊富ですので、種々のご相談に対応可能です。

測定方法等

JIS Z 2801(抗菌加工製品・抗菌性試験方法・抗菌効果), JIS L 1902(繊維製品の抗菌性試験方法・抗菌効果), 消毒剤の殺菌効果試験などを参考として, ウイルス用に検討・変更した方法で行います。なお, 試験内容・試験計画については, 使用目的・対象品の形状などにより異なってまいりますので, ご遠慮なくお問合せ下さい。

価格(税別)

予備試験*: 10 万円

本試験 30 万円より

* 予備試験は, 検体の細胞変性効果及び感染価測定の状態について予め調べるものです。検体の効果を予測するための試験ではございません。

測定ポイント数によって料金が異なります。また, 上記はウイルス 1 種当たりの料金です。

2 検体目以降から割引があります。

納期(目安)

約 1.5 箇月

依頼状況や長期祝日の影響で変動する場合がございますので, ご依頼のタイミングで改めてご確認ください。